

やすらぎ

日本聖公会 九州教区 福岡聖パウロ教会
〒810-0045 福岡市中央区草香江 2-9-22
TEL 092-751-0097 FAX 092-751-9916
発行人 司祭 ミカエル 李相寅

259号

2022.3.20 発行

YASURAGI



「離れる準備」

イ サンイン
司祭 ミカエル 李 相寅

私が神学大学院生の時代、私たちを指導してくれる担当司祭が、私たち神学生たちにした助言があります。

聖職者は心の中で常に 3 つの準備をしなければならないと言いました。

一つ目はいつも離れる準備をしていなければならないということです。聖職者はいつでも教会の人事と発令で離れる準備、宣教地に送られる準備です。この助言は、仕事をするなどということとか、短期的なことをしろということではありません。聖職者は、教会共同体、宣教地にわたしの痕跡、業績を残そうとせず、わたしがいなくてもいい教会共同体、宣教地の未来のために考えて行動しなければならないということです。

二つ目は常に話す準備、説教する準備をしていなければならないということです。この助言は、私が中心となってたくさん話さないということではありません。苦難と試練を経験している人には慰めと希望の言葉を、正しくないことをする人には省察のメッセージを伝えなければならないということです。それで普段から人、社会に対する問題意識を持ち、勉強して悩まなければならないということです。

三つ目はいつも死ぬ準備をしていなければならないということです。この助言はいつ死ぬか分からないから無気力に生きるということではありません。真の謙遜を持たなければならないということであり、十字架の死に基づいたイエス様と共に歩むべきだということです。

私は2021年10月から今年の3月まで福岡聖パウロ教会の管理牧師として働きました。

福岡聖パウロ教会の管理牧師を辞める際に、約15年前、神学大学院の時の司祭の助言が思い出されました。司祭の助言どおり、管理牧師として仕事をしたのか、自分自身への質問をしつつ、去る5ヶ月を振り返ることになります。

